

農業



平成23年3月号
会誌 No. 1544

目 次

巻頭言

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加に反対する 清塚 利夫 3

論壇

農業への新規参入に注目する 納口るり子 4

〔先進農業者懇談会〕

販売を見なおす－流通・加工への取組－

平成22年度第1回先進農業者懇談会から（第1部） 6

冒頭説明 7

海を越えろ、青森県産品！ 柏崎 進一 7

再生産できる価格で売れる舞台を作る 長谷川久夫 14

座長からの補足質問 17

〔寄稿〕

地域ブランド化の視点からの日本ワインの特徴と今後の課題 高橋 梯二 20

ワイン生産と消費の変化

産地の個性を追求した国産ワインの評価の高まり

原産地主義と品種主義との結合

国産ワインの産地ブランド化の今後の課題

研究の最前線	
ミツバチの減少原因究明と対策	木村 澄 25
セイヨウミツバチとニホンミツバチ	
世界におけるミツバチ減少の様相	
CCD（蜂群崩壊症候群）に関して	
ミツバチ不足の背景	
ミツバチ不足に関する対策	
農業・農村の現場から	
環境・農業・食をつなぐまちづくりでの農業振興	野口 英幸 36
世界の農業は今	
自立を志向するオーストラリアの有機農業	谷口 葉子 41
農政情報	46
大日本農会だより	47
ミニ特集 「農業・農村の6次産業化の推進」	19

表紙写直説明

送り雛（愛知県豊田市下山）

愛知県豊田市は、世界の自動車工場、TOYOTA のメイン工場群がある都市である。この写真の撮影された下山村（東加茂郡）は、平成17年4月に、東加茂郡の旭町、足助町と北設楽郡の稻武町とともに豊田市に編入した。編入された地域は、中山間地域の多い農山村地帯である。写真には、送り雛とあるが明らかに武者人形である。神無月に神様が出雲へでかけ、みんなで無事に帰ってこられるよう、送り出す行事につくられた。以前は、川へ流していたために流し雛と撮影者は頗したのだろう。

豊田市の農業は、メインは稲作である。しかし、中山間地域が加わり、白菜、すいか、自然薯といった野菜、桃、梨、柿、ブルーベリーといった果樹、シンビジウム、小菊、シクラメンの花き類、酪農などを中心に畜産業もあり、多様な農産物が加わった。大きな市場も近いことから、地産地消に力を入れている。

(写真提供：(社)農村環境整備センター)